

#### 4. 細野地区でどのような移動ニーズに応えるべきか？(地域としての移動ニーズ)

##### ✓ ドアtoドアのサービス

- ・ドアtoドアでなければ実用性がない。

##### ✓ 病院・スーパー・役所

- ・病院・スーパー・役所には行けた方がよい。

##### ✓ 気分転換の外出も必要

- ・病院やスーパー以外にも行けるとよいが、贅沢な場所は望まない。

##### ✓ 帰宅手段としても利用できる

- ・帰宅手段として確実に利用できることが重要



バスのような停留所を設置するタイプのサービスは細野に合わない。

#### 5. その他(移動手段に対する希望など)

##### ✓ 継続できる仕組みが必要

- ・実証実験を成功させて継続できる取組がよい。
- ・タクシー会社に撤退されたら困るため、存続させる取組も必要。

##### ✓ 利用方法について

- ・何時に出られるか事前予約できるとよい。
- ・行きたいとなった時に移動できるとよい。
- ・病院の待ち時間等の問題解決が必要。

これから困るのは自分たちだから、今から取組を始めて考えるべき。



##### ✓ ボランティアについて

- ・ボランティアでの助け合いのサービスがよい。手を挙げる人も一定数いると思う。
- ・理想的だが、もらい事故もあるから保険料の問題などで難しいのではないか。
- ・自分ができないから意見を出しにくい。

##### ✓ その他

- ・ある程度行き先を絞らないと、どこにでも行けるといふのは実現性がないと思う。
- ・運用時に実験時を上回る料金設定はしないほしい。
- ・デマンドバスも借り上げ料金が安価なら導入可能性はあるはず。



#### 今後の進め方を確認しました

今後の進め方や開催結果の報告について確認を行い、会場のみなさまから了解をいただきました。今後は検討会をあと2回ほど開催し、その結果を踏まえて、実証実験を実施する予定です。

**次回は3月12日(火)午後6時半から細野ふるさとセンターで検討会を開催し、望ましい移動手段について検討していただきます。**

**次回から新たに参加されても支障ありませんので、お気軽にご参加ください。**なお、その際は事前に安中市企画課までご連絡をお願いします。

#### スケジュール

| 日程         | 内容                       | 内容                               |
|------------|--------------------------|----------------------------------|
| H31.1.29   | 第1回検討会<br>移動の困りごとを共有しよう  | 検討会の趣旨をご説明し、移動の課題やニーズを伺います。      |
| H31.3.12   | 第2回検討会<br>望ましい移動の手段を考えよう | 事例や制度をご説明し、望ましい移動手段について伺います。     |
| H31.5 (予定) | 第3回検討会<br>何ができるか考えよう     | 運行形態で検討すべき内容をご説明し、要配慮事項について伺います。 |

話し合いの成果をまとめて回覧板等で報告(暮らしの足通信第1号) **今はココです**

話し合いの成果をまとめて回覧板等で報告(暮らしの足通信第2号)

話し合いの成果をまとめて回覧板等で報告(暮らしの足通信第3号)  
※サポーターの募集を行い、実証実験の案が固まった段階で実証実験を行います。

#### 発行/お問合せ

安中市総務部企画課(担当:企画調整係)  
〒379-0192 安中市安中1-23-13  
TEL:027-382-1111(代表)FAX:027-381-0503

群馬県県土整備部交通政策課(担当:企画調査係)  
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1  
TEL:027-897-2869(直通) FAX:027-223-9510

#### 細野地区「新たな移動手段」検討会

平成31年2月22日



# 暮らしの足通信 第1号

発行:安中市企画課、群馬県交通政策課

## ～細野地区で「新たな移動手段」の検討が始まりました～

高齢者をはじめとした自動車を使えない方の暮らしの足を確保することが全国的な課題となっています。

このような状況を踏まえて、市と県では去る1月29日(火)午後6時半から細野ふるさとセンターにて『細野地区「新たな移動手段」検討会』を開催しました。

当日は区長、民生委員をはじめとした30名の方にご参加いただき、活発な意見が交わされました。



第1回検討会の様子

### どうしてこれを始めたの？(開催の経緯)



既存の公共交通によらない「新たな移動手段の導入支援」を行う事業を群馬県が開始し、安中市細野地区が選定されました。

細野地区はバスなどの公共交通が整備されていなく、自動車を使えず家族の送迎に頼れない地域住民の移動がタクシーに依存している状態です。

市民アンケートでも、何らかの交通手段を確保してほしいとの要望があり、県の事業を通じて改善できないか検討したいと考えています。

そこで今回、地区の方に集まっていただき、地域交通の課題等について意見をお聞きしました。



### 検討会の開催内容を報告します

検討会では、はじめに開催経緯や県事業の目的について説明が行われ質疑応答がありました。その後、3つのグループに分かれて意見交換が行われました。その内容について、順番にご報告します。

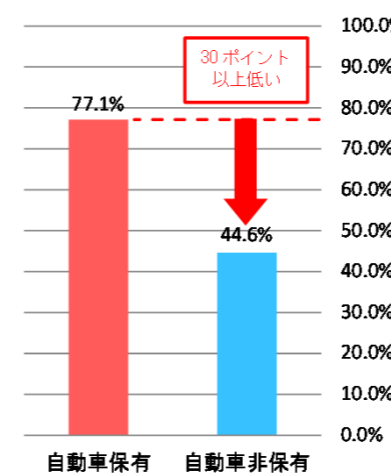


### 県の事業について説明がありました

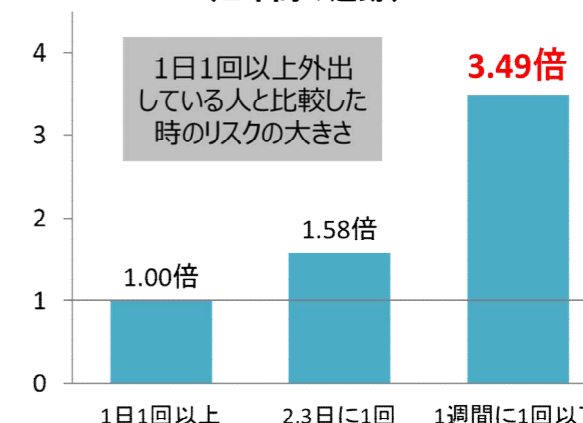
県内の自動車を使えない高齢者は、約半数が自動車送迎に頼って生活しており、外出率も低い状況です。また、自宅から外出して社会参加する機会が減少すると、歩行が不自由になったり認知機能が低下するという研究報告もあります。

県では、自動車を利用できない県民でも不自由なく暮らすことができる環境を形成するため、既存の公共交通の概念にとらわれない新たな概念の公共交通を導入し、日常の買い物や通院、通学などに必要な移動手段の確保を目指しています。

自動車保有状況別の高齢者の外出率



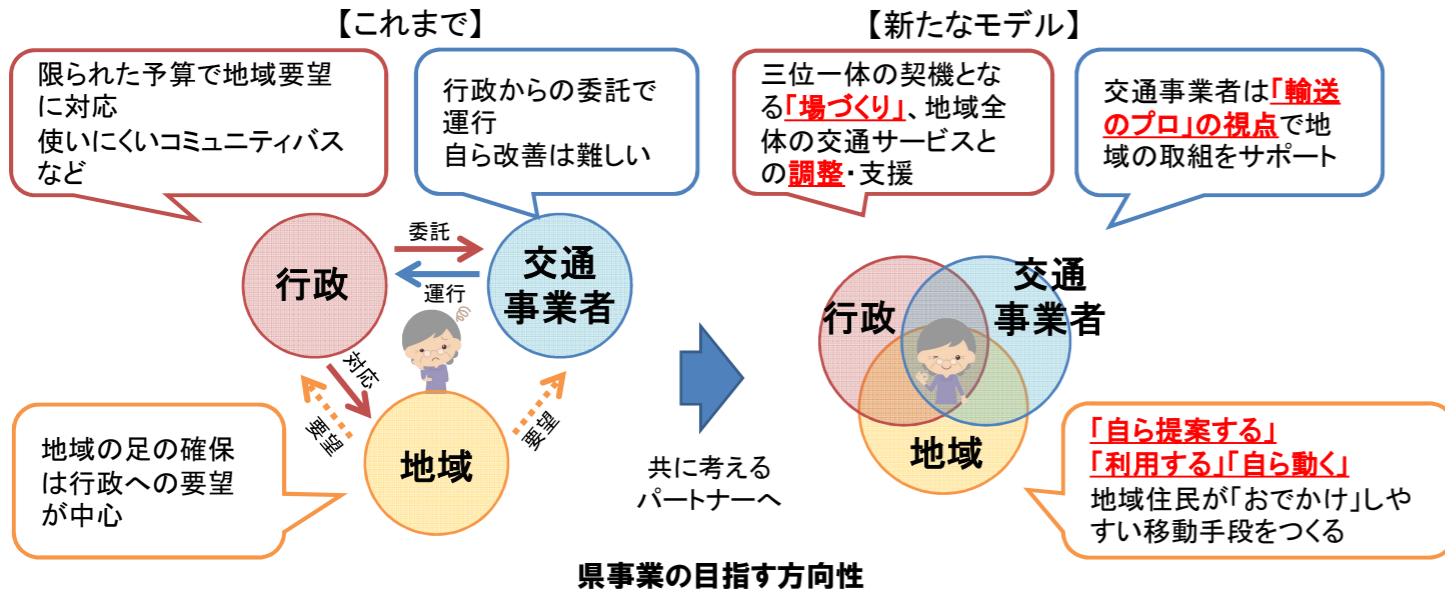
外出頻度と認知機能障害の発生リスク(2年間の追跡)



出展:東京都老人総合研究所\*, 老人研NEWS No.219 (2007.3) を基に作成  
※現: 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

高齢者の外出には、鉄道やバスなどの公共交通と異なり、よりきめ細やかに運行するサービスが必要になります。そして、地域の方と行政が協力してきめ細やかに運行する交通サービスとして、「住民互助によるボランティア運送」や「タクシーの相乗り」などの「新たな移動手段」の導入が全国各地で始まっています。

「新たな移動手段」をいち早く地域に導入できるよう、県はモデル事業について実証実験の実施を支援します。「おでかけ」しやすい移動手段の導入は、今移動に困っている高齢者の外出機会を創出するだけでなく、将来も安心して豊かに暮らし続けられる地域づくりにつながります。



### 「新たな移動手段」の全国的な事例について紹介がありました

新たな移動手段の具体的なイメージとして、全国的な事例が3つ紹介されました。また、質疑応答の中で安中市のデマンドバスに関する質問などがあり、次回の検討会で利用状況等の補足説明を行うことになりました。


#### ① 地域が運営する乗合タクシー

##### ■ 山形県山形市


- 市町村が運営するコミュニティバスが、週1日運行していた。
- 地域住民から「もっと便数を増やして欲しい」という声があがった。

↓

- 地元の町内会を中心に「運営協議会」を組織し、運行計画をつくるなど、「スマイルグリーン号」を住民が主体となって運営。
- 運転はタクシー会社に委託。
- 運賃は200～600円。
- 運行本数を週3日に増便（前日電話予約）。



スマイルグリーン号



運行エリアの検討

#### ② 住民が有償で運転・予約受付する交通


##### ■ 兵庫県豊岡市

- 公共交通の空白地域において、車を運転できない高齢者らの移動手段確保が課題となっていた。

↓


- 地元関係者で組織する運営協議会が主体となって、運転や予約受付などを実施。
- 運転手は地元のボランティア（運転手当あり）。
- 運賃は100～200円。
- 運行本数は週3日（事前予約）。

**利用の様子**




ドアツードアに近いサービス

**チクタク**



市の公用車を無償貸与



地域の地域による 地域のための 公共交通

### ③ 住民による無償のボランティア運送

- #### ■ 北海道中頓別町
- 鉄道に代わって代替バスを運行しているものの、利便性が悪かった。
  - 公共財源に依存しない地域の足の確保が課題となっていた。
- ↓
- 町民や交通事業者、有識者などが参画した「研究協議会」が事業主体。
  - 有志の住民ボランティアが無償で運転（車両もボランティア所有のもの）。
  - 利用者は実費のみの負担（燃料代、アプリの手数料など）。



#### 細野地区の移動の困りごとについて意見交換を行いました

後半は3つのグループに分かれて、「移動困難者のニーズ」「自分たちの外出先」「免許返納後のニーズ」「地域としての移動ニーズ」などについて議論を行い、それぞれの内容について発表が行われました。主な意見は次のとおりです。



#### 当日の主な意見

- ### 1. 地域内で移動に困っている人はどのような状況か？（移動困難者のニーズ）
- ✓ **家族送迎に頼っており、都合が合わないと外出できない**
    - 子供や孫の送迎に頼っているため、外出の可否が家族の都合に左右される。
  - ✓ **タクシー券は金銭的な負担が大きい**
    - タクシー券の補助だけでは足りないため、金銭的な負担が大きい。
  - ✓ **周りの人に買い物や同乗をお願いしている**
    - 周りの人に買い物をお願いしたり、支所まで同乗してからバスを使う人もいます。
  - ✓ **ドアtoドアのサービスでないと移動できない**
    - バス停まで行けず、ドアtoドアでないと移動できない人もいます。
  - ✓ **帰宅まで確実に利用できる移動手段が必要**
    - タクシーを待たせて買物をする人もいます。
    - 帰宅まで確実に利用できる必要がある。
  - ✓ **複数の病院に通院している**
    - 複数の病院に通院し、人によってかかりつけ医が異なる。
    - 通院先は旧松井田町だけではない。
  - ✓ **その他**
    - 本当に困っている人は声をあげられない。
- ### 2. 自分たちは普段、自動車でもどこにおでかけしているか？（自分たちの外出先）
- ✓ **病院・スーパー・役所**
    - 買い物、病院、市役所、文化センター
  - ✓ **趣味・気分転換**
    - 趣味や気分転換（大衆浴場、グラウンドゴルフ、カインズ等）
  - ✓ **高校生の送迎**
    - 高校生の駅までの送迎
  - ✓ **農業**
    - 家業で農業するための移動
- ### 3. 明日から免許返納になるとしたらどこに行きたいか？（免許返納後のニーズ）
- ✓ **買い物や病院**
    - 病院や衣食住に関する買い物などは必要。
  - ✓ **健康を考えて普段から外出したい**
    - 認知症予防のためにも知り合いに会うなど、病院以外の移動もしたい。
  - ✓ **外出しなくなる**
    - おそらく週に何度も出たいとは思わなくなる。
  - ✓ **免許返納は考えられない**
    - 農業を続けるため、免許返納は考えられない。